



# 野村未来トレンド発見ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

愛称：先見の明

## モーニングスター “ファンド オブ ザ イヤー 2019”

### 『優秀ファンド賞』受賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”

国際株式型（特定地域）部門



弊社が運用する「野村未来トレンド発見ファンド Bコース（為替ヘッジなし）愛称：先見の明」が、モーニングスター“ファンド オブ ザ イヤー 2019”の国際株式型（特定地域）部門（対象ファンド数：719本、2019年12月末時点）において、『優秀ファンド賞』を受賞しました。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

#### 運用者のコメント

当ファンドは、弊社の運用部のメンバーで議論を重ね、考案・開発したファンドです。当戦略を立案する際、複数の成長テーマを想定することをコンセプトの中心に据えました。特定のテーマに絞ってしまうと、そのテーマの賞味期限が終わるとともに、ファンドの成長も止まってしまうためです。市況の変化に応じて“今ほどのテーマが買いなのか”を選別する仕組みを当ファンドは持っています。

今回のモーニングスター『優秀ファンド賞』の受賞をはじめとして、世界的なファンド評価機関や、機関投資家のお客様からも高い評価を頂いており、我々の運用戦略が間違いではなかったのだと自信を深めています。しかし後述するように、2019年以降市況の大幅な変化や政治イベントなど、不確実性の高い状態が続いておりますので、今後も一層気を引き締め、機動的かつ柔軟に運用してまいります。

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

## 2019年の運用の振り返り

### 2019年は米国株式を中心に大きく上昇。 当ファンドも超過収益を確保。

2019年は、米国株式を中心に大きく上昇しました。これは、米中貿易戦争の緩和などを背景に景況感の底入れ期待が高まったこと、FRB（米連邦準備制度理事会）のスタンスがハト派姿勢に転じ緩和的な金融環境が形成されたこと、などによる株価のバリュエーションの拡大が要因です。

9月に世界的に順張り株や高成長株が急落するなど、ファンドの運用としては難しい局面もありましたが、一時的に「AI/クラウドサービス」や「フィンテック」といった高い成長が期待できるテーマから、「消費の多様化」や「アウトソーシング」といった、安定的成長を見込むテーマへ大胆にシフトするなど、柔軟な対応を行ないました。その結果、超過収益を確保し、お客様の投資収益に貢献できたと考えています。

### Bコース（為替ヘッジなし）の運用実績

期間：2015年11月27日（設定日）～2020年1月31日、日次



### 期間収益率

	2019年	2018年	2017年	設定来
①Bコース	27.5%	-2.1%	22.0%	50.5%
②世界株式	26.8%	-12.2%	20.3%	33.3%
超過収益率（①-②）	0.7%	10.1%	1.7%	17.3%

設定来：2015年11月27日～2020年1月31日  
 世界株式：MSCIオール・カンTRIES・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）  
 \* 当該インデックスは、当ファンドのベンチマークではありません。  
 （出所）ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

### 成長テーマ別配分比率の推移

2019年7月末現在		2019年9月末現在		2020年1月末現在	
成長テーマ	純資産比	成長テーマ	純資産比	成長テーマ	純資産比
AI/クラウドサービス	20.0%	消費の多様化	20.8%	AI/クラウドサービス	23.6%
フィンテック	15.8%	アウトソーシング	12.5%	消費の多様化	14.5%
アウトソーシング	15.8%	高齢化社会	12.5%	アウトソーシング	13.9%
消費の多様化	14.3%	IoT/スマートモビリティ	10.2%	IoT/スマートモビリティ	13.2%
高齢化社会	9.0%	AI/クラウドサービス	8.5%	フィンテック	12.4%
その他テーマ	21.6%	その他テーマ	26.3%	その他テーマ	20.3%
その他の資産	3.5%	その他の資産	9.2%	その他の資産	2.3%

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません

## 足元の運用状況

### 再び、高い成長が期待できるテーマへ重点配分。 安定的成長を見込むテーマの中の、新たな成長トレンドを持つ銘柄も活躍！

足元、「AI/クラウドサービス」「フィンテック」といった、より高い成長が期待できるテーマへの配分を再び高めています。これは、FRBによるバランスシートの急拡大などに象徴されるような、緩和的な金融環境などを背景としています。

また、ファンドは景気サイクルに左右されない安定的成長を見込むテーマにおいても、新たな成長トレンドの発掘を行なっています。たとえば組入上位10銘柄では、アバララ（組入7位）は「アウトソーシング」の成長テーマに付随する「会計処理システムニーズの増大」、アトラシアン（組入10位）は「複雑化し迅速性が求められるシステム関連業務の統合支援ニーズの増大」、ゾエティス（組入9位）は「高齢化社会」の成長テーマに付随する「ペット支出の増大」という新たな成長トレンドに関連する銘柄です。これらの銘柄の株価上昇も寄与し、2020年に入りファンドの超過収益は拡大しています。

一方で、今年は「米大統領選」や「中国新型肺炎」など不確実要素も見込まれますので、引き続き機動的に柔軟に、ポートフォリオを運用していく所存です。今回『優秀ファンド賞』を受賞させていただきましたが、一層気を引き締め、成長テーマ追求および関連銘柄探しを継続してまいります。

#### 組入上位10銘柄（2020年1月末現在）

■：高い成長が期待できるテーマ ■：安定的成長を見込むテーマ

	銘柄	国・地域	業種	成長テーマ
1	マイクロソフト	米国	ソフトウェア・サービス	AI/クラウドサービス
2	アマゾン・ドット・コム	米国	小売	AI/クラウドサービス
3	アドビ	米国	ソフトウェア・サービス	AI/クラウドサービス
4	マスターカード	米国	ソフトウェア・サービス	フィンテック
5	ASMLホールディングス	オランダ	半導体・半導体製造装置	新技術
6	ロス・ストアーズ	米国	小売	消費の多様化
7	アバララ	米国	ソフトウェア・サービス	アウトソーシング
8	ハネウェルインターナショナル	米国	資本財	IoT/スマートモビリティ
9	ゾエティス	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	高齢化社会
10	アトラシアン	英国	ソフトウェア・サービス	アウトソーシング

国・地域は原則発行国・地域で区分しています。銘柄の成長テーマ分類は適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買等の推奨、また価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません

#### <当資料で使用した指数について>

MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドル建て）を基に、委託会社が独自に円換算したものです。

●MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



**中山貴裕 シニアインベストメントオフィサー**

### どうやったら“好パフォーマンスが期待できる テーマファンドを作れるか”、議論を重ねてできたファンド

当ファンドは、弊社の運用部のメンバーで議論を重ね、考案・開発したファンドです。後述するように、私は運用者として企業の“光と陰”を目の当たりにしてきました。

例えば、1999～2000年頃のドットコムバブルの時期が強く記憶に残っています。当時私は日本の小型株を担当していたのですが、ITやバイオテクノロジー系の銘柄を中心に、キャッシュフローなどの“実態”が無いにも関わらず高値で買われている銘柄を目にしました。その後どうなったのかはご想像の通りです。このような経験から、単に“ニュースで盛り上がっているだけ”で特定のテーマ関連企業に投資することの危うさ、景気サイクルを乗り越えて成長する企業探しの大切さを身をもって経験しました。

その経験をもとに、当戦略（未来トレンド発見ファンド）を立案する際、そもそも複数の成長テーマを想定するということがコンセプトの中心に据えましました。1つのテーマに絞ってしまうと、そのテーマの賞

#### 運用調査経験年数：19年

野村アセットマネジメント 東京本社にて運用  
グローバル株式グループ 投資責任者  
「野村未来トレンド発見ファンド」運用責任者

#### ○好きなスポーツ

ゴルフ

#### ○普段の過ごし方

米国で何かあると、夜中3時に目が覚め株価  
をチェックする日々

味期限が終わった際に、どこにも逃げ場がなくなるからです。市況に応じて“今はどのテーマが本当に買いなのか”を選別する仕組みを当ファンドは持っています。

#### コンセプトは実現化され、外部評価機関から高い評価を頂戴するステージに！

当初、このコンセプトは、“コンセプト倒れ”に終わる危険もありました。我々が判断を誤り、その時々成長テーマを上手く選択できない恐れがあったからです。

ただ現在では、その心配は杞憂に終わったと感じています。良好なパフォーマンスが何よりの証拠です。今回モーニングスターから賞を頂いたり、世界的なファンド評価機関や、実際の機関投資家のお客様からも高い評価を頂戴することで、我々のやってきたことが間違いではなかったのだと自信を深めつつ、かつ謙虚になりながら、日々お客様の資産を運用させて頂いております。

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
  - 新興国を含む世界各国の株式(DR(預託証券)<sup>※1</sup>を含みます。)を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
    - ※1 Depositary Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
    - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - 償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)ならびに不動産投資信託証券(REIT)および企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証券も含まれます。
  - 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマ<sup>\*</sup>を複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
    - ※ 「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から成長テーマの選定を行なうことを基本とします。
    - ◆ 成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。
  - 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
  - 「Aコース(為替ヘッジあり)」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース(為替ヘッジなし)」は原則として為替ヘッジを行ないません。
  - ファンドは「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
  - 「Aコース(為替ヘッジあり)」「Bコース(為替ヘッジなし)」間でスイッチングができます。
  - 原則、毎年11月14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
    - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
- \* ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 2025年11月14日まで  
【Aコース（為替ヘッジあり）】2017年6月2日設定  
【Bコース（為替ヘッジなし）】2015年11月27日設定
- 決算日および収益分配 年1回の決算時（原則、11月14日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）  
または1万円以上1円単位  
（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース（為替ヘッジあり）」「Bコース（為替ヘッジなし）」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

（2020年2月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.705%（税抜年1.55%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### 【分配金に関する留意点】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

### ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
 一般社団法人日本投資顧問業協会／  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



#### 【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村未来トレンド発見ファンド（愛称:先見の明） Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。